

海域における耐波安定性・機動性に優れたボーリング調査手法

港湾に係る民間技術評価 第94302号

傾動自在型試錐工法



- | | |
|---|-------------|
| 1 | 1 作業風景全景 |
| 2 | 2 掘削状況 |
| 3 | 3 ガイドパイプの残置 |



傾動自在型試錐工法 技術サポート窓口

中央開発株式会社
東京支社・技術部
☎ 03-3208-3591

- 地盤調査・解析、物理探査・計測
- 地下水調査・解析、水文観測、さく井
- 土壌調査・汚染対策、浄化工事
- 土壌・地下水分析、室内土質試験
- 斜面防災・モニタリング・監視サービス
- データベース、GIS、システム開発・販売
- 土木・農業土木、計画・設計、測量
- 防災計画、ハザードマップ、被害想定
- 長寿命化、耐震診断・耐震対策
- 地域計画、観光振興、住民合意形成
- 環境調査、環境アセスメント
- 海外事業（農業、都市計画、地下水開発 他）



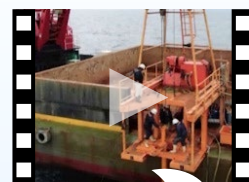
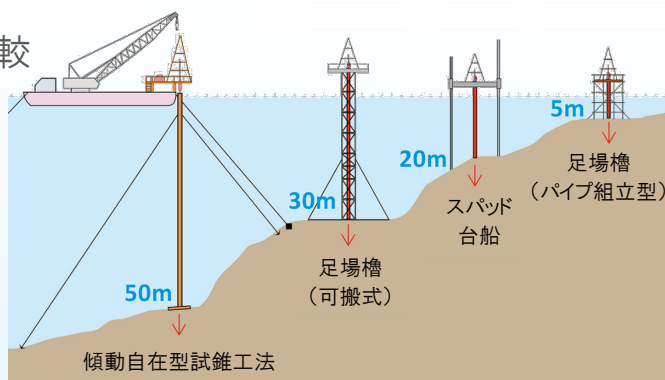
人と土と水の調和したエンジニアリング

中央開発株式会社

www.ckcnet.co.jp

○ 水深に応じた工法比較

傾動自在型試錐工法は、ガイドパイプと台船上のボーリングユニットが完全分離しているため、ガイドパイプの長さ調整にて水深に適用でき、最大水深約50mまで対応が可能です。



YouTubeで
工法紹介動画
公開中!



○ 傾動自在型試錐工法の特徴

》 気象・海象の変化に迅速に対応

ガイドパイプと台船上のボーリングユニットが独立した構造のため、荒天時には30分程度で避難し、天候回復後にもスムーズに作業を再開できます。

》 沿岸部から外洋までをカバー

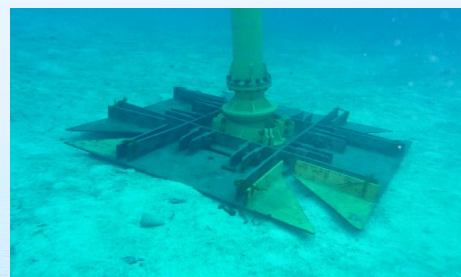
最大水深50m程度の海域まで対応します。また海底面が傾斜していても設置可能です(最大10°程度)。

》 陸上同様の調査品質

地盤調査としてオールコアリング(φ66~86mm)、乱れの少ない土・岩試料の採取、ボーリング孔内を利用した原位置試験についても陸上調査同様に精度を維持できます。

》 施工実績多数

埋立事業、横断道路事業、防波堤建設事業、エネルギー事業など各種構造物の基礎地盤調査や海域の活断層調査など、多くの実績があります。



■ 特殊底板(フレキシブル底板:特許第7434058号)



■ 採取コア例(活断層調査におけるコア半裁断面)

傾動自在型試錐工法 技術サポート窓口

中央開発株式会社
東京支社・技術部
03-3208-3591



人と土と水の調和したエンジニアリング

中央開発株式会社

www.ckcnet.co.jp